



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは
こうへい
山田耕平
です

2024.12.4 No.523

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

右QRコードを
ご活用下さい



児童館の増設・機能強化、コミふらの高齢者利用拡大案 パブコメにみなさんの声をお寄せください

パブコメ実施中の案件

- 杉並区総合計画等の一部修正案
- 杉並区保健福祉計画／杉並区健康医療計画の改定(案)
- 杉並区多文化共生基本方針(案)
- 杉並区子どもの居場所づくり基本方針(案)
- 杉並区景観計画改定案
- 杉並区建築物への再生可能エネルギー利用設備の設置の促進に関する計画(案)

【意見募集期間】

12月3日～2025年1月6日

◆詳しくはコチラから⇒



今回、各地で実施されたワークショップや住民との意見交換会等で寄せられた意見を踏まえ、児童館の増設や機能強化、ゆうゆう館の存置とコミュニティふらっとの高齢者利用の拡大等が盛り込まれました。

12月3日から来年1月6日の期間で「総合計画等の一部修正案」や「子どもの居場所づくり基本方針(案)」など計6案件のパブリックコメントが実施されています。これまでの区政運営から大きな方針転換が示されており、重要な内容です。ぜひ、みなさまのご意見をパブコメにお寄せください。

児童館の増設・機能強化 区立施設は住民協議で決定

パブコメ対象6案件はどれも区民生活に関わる重要な計画や方針ですが、特に注目されるのは「子どもの居場所づくり基本方針(案)」と「総合計画等の一部修正案」に含まれる「区立施設マネジメント計画」修正案です。

岸本区政のもと、区立施設のあり方は住民との協議を通じて検討することが示されましたが、その具体化となるものです。

旧上荻窪会議室等の跡地活用と周辺施設の検討



- ①旧上荻窪会議室等跡地には集会施設(コミュニティふらっと)を整備します(新たな施設は令和10年度に開設予定)。
- ②西荻北保育園は現地改築します。改築は現在の在園児の卒園後を予定しています(最短で令和11年度以降に解体予定)。
- 改築工事期間中の仮設園舎は西荻南区民集会所(旧西荻北児童館)の敷地を活用します。ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園にゆうゆう館を併設します。
- ③ケア24上荻は杉並会館で運営を継続します。

これら修正案は住民とのワークショップ等を踏まえ提案されています。今後も区立施設のあり方は住民との協議を尽くし、必要に応じて、年度毎に修正案が示されることとなります。

住民自治の実現に向けて 住民参画と協働の具体化へ

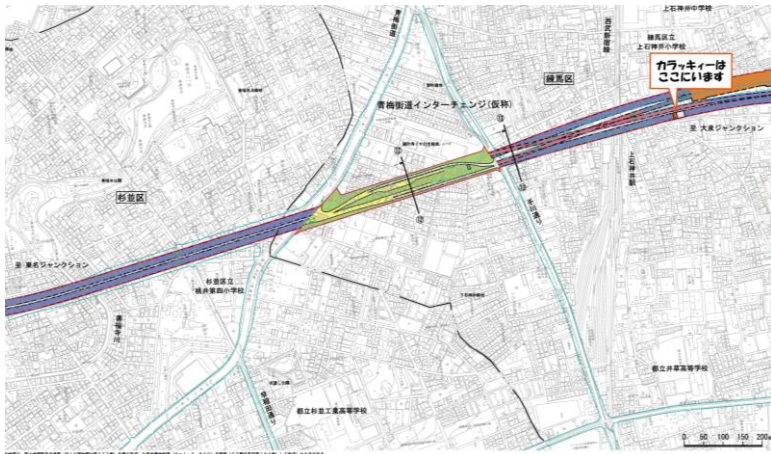
前・田中区政のもとでは、住民無視の計画強行等が繰り返され、区内各地で住民との対立が深刻化していました。一方、岸本区政は住民との丁寧な対話と合意形成の努力を図り、各計画案の検討を進めています。住民自治の実現に向けて、重要な取り組みであり、多くの住民の区政参画と協働が進むよう、引き続き、力を尽くします。

西荻北・上荻窪の地域(上図)では、当初廃止予定であったゆうゆう西荻北館は存置することになりました。

また、ゆうゆう上荻窪館は(仮称)コミュニティふらっとに機能移転されますが、高齢者が利用しやすいよう高齢者優先枠の申込み可能枠数を超えて利用する場合に使用料が免除されます。

外環道シールドマシン 杉並区境まで1100メートルまで到達 スクリーコンベヤーをめぐる重大トラブル発生

12月5日時点でのシールドマシンの位置図



杉並区議会第4回定例会・道路交通対策特別委員会が行なわれました。私も委員として、外環道問題について質疑に立ちました。

トラブル続発するも掘進継続： 令和7年8月頃、杉並区境到達か

現在、杉並区境に最も近い距離で掘進を進めるシールドマシンは大泉JCT発「北行きカラスキー」です(左図)。杉並区境まで約1100mに接近しており、現在の掘進スピードは一日平均4.2m程度。このまま掘進が進めば令和7年8月頃を目途に杉並区境に到達します。

10月22日(火)には、「北行きカラスキー」でスクリーコンベヤーの重大トラブルが発生。一カ月以上停止することになっていきます。

※12月5日時点では掘進を再開している。

外環道工事は、各地での酸欠気泡の発生、調布市での地盤陥没と地中の空洞や緩みの発生、シールド機が設計とずれた鋼製地中壁と接触しての破損、テールシールドの破損(地下水のシールド内への流入を防ぐ機器の破損)、スクリーコンベヤーの破断と抜け出し(右下図)等々、シールドマシンの重大トラブルや事故が相次いでおり、深刻な事態です。

基礎自治体への情報提供にも遅れ

外環道工事は住宅街の直下で行なわれており、事故やトラブルの発生や許されないことですが、今回のスクリーコンベヤーのトラブルを受けて、耐久性の向上(更新)が必要とされながら、完全復旧しないうまま応急処置で掘進が再開されています。安全性を軽視する重大問題です。

さらに、今回、トラブル発生から自治体への情報提供は遅れ、トラブル発生から数日が経過してから工事区間の練馬区に報告(杉並区への報告無し)。さらに公表以前・直前に住民が状況を知ろうとしても、事業者は一切の質問に答えなかったとのことです。

国・事業者の情報提供の遅れが繰り返されていることに対して、杉並区から再発防止を要請するよう、求めました。

外環道工事に関するオープンハウスを開催

場所：杉並区勤労福祉会館3階
日時：令和7年1月21日(火)
オープンハウス 18:00~20:00
意見交換の場 19:00~20:00

スクリーコンベヤーのトラブルについて 中日本高速道路株式会社の公表資料



今回の事故は、シールドマシン製作時以降に発生土有効利用のために添加材(高分子材)を増量する等の施工条件変更があり、想定以上の負荷がスクリーコンベヤーにかかっていたとされ、掘進時の掘削土砂排出に伴う鋼管やスクリー羽根の摩擦が想定以上に進行、自重によりたわみが生じたスクリーシャフトが回転し、接合部に繰り返しの曲げ応力が作用し、駆動軸が破断、スクリーシャフトが抜け出して回転不能となったとされている。